

【声明】

米国トランプ政権とイスラエルによる無法なイランへの攻撃に強く抗議し、即時中止を求めます

2026 年 3 月 2 日

日本婦人団体連合会

会長 小畑雅子

2月28日、米国トランプ政権とイスラエルは、イランに対する大規模な軍事攻撃を開始しました。これは、国連憲章と国際法を蹂躪する無法な先制攻撃であり、強く抗議します。

トランプ大統領は、ビデオ演説で、「イランは核開発の野心を放棄するあらゆる機会を拒んだ。米国はテロ政権が核兵器を保有することを決して許さない」と述べました。しかし、米国とイランは核問題をめぐり高官協議中であり、対話を放棄して、無法な先制攻撃を行うなど許されるものではありません。さらに重大なのは、イラン国民に対して、「われわれの作戦終了後、政府を掌握せよ」などと、体制転覆を公然と呼びかけていることです。軍事攻撃によって、イランの最高指導者ハメネイ師が殺害されています。いかなる理由があろうとも、他国の主権を踏みにじるこうした行為は、国連憲章、国際法に違反する侵略行為であると言わなければなりません。婦団連は、米国トランプ政権とイスラエルの暴挙に強く抗議し、無法な行為を直ちに止めるよう強く求めます。

日本政府は、力による現状変更抗議し、米国トランプ政権とイスラエルに対して、直ちに攻撃をやめるよう求めるべきです。婦団連は、高市政権に対し、憲法9条を持つ国の政府として、米国トランプ政権の無法な行為を明確に批判し、速やかな解決に向けて尽力するよう強く求めます。